

ラストマイルにおける円滑な支援物資輸送の実現に向けた調査検討会（第一回）
議事概要

- ・日 時：平成30年12月6日（木） 15:00～17:00
- ・場 所：スタンダード会議室 新虎ノ門店 会議室C

<検討会の設置趣旨について>

- 首都直下地震等の地震が中心となっているが、風水害は対象とするのか。
- 被災者への支援とあるが、避難所までを想定しているのか、在宅等の被災者も含めるのかにより、記載の仕方も変わってくると思われる。これを含めないと被災者全員に物資を届けるといった解決に繋がらないのではないのか。

<ラストマイルにおける支援物資輸送・拠点開設・運営ハンドブック（案）について>

- 支援物資輸送における重要な3つのポイント（リソース（物資拠点施設やトラック）の調達方法、リソースの有効活用、ボトルネックの発生防止）をコンセプトとして明示した方が分かり易いとする。
- 事前準備において、平時からそれぞれの当事者（各担当部署）の連絡体制を確立させておくことが重要であり、少し詳しく記載した方が良いのではないのか。
- 当事者の連絡体制、顔の見える関係が重要。また県と市町村との関係が繋がることで動いていくものとする。市町村による物資輸送においては、係る予算や人手の確保が重要であるとする。
- 平時に使用する内容としては良いが、発災時にも簡単かつ短時間に確認できる内容も盛り込んだ方が良いのではないのか。
- ハンドブックの対象とするところは、プル型支援によるものなのか、プッシュ型支援によるものなのか。
- メリハリがあって良いが、都道府県、市町村がそれぞれ行うべきことが容易に分かるようチェックリストなどを盛り込んだ方が良いのではないのか。
- 全国の都道府県や市町村の防災に係る取り組み方は様々であり、取り組みが進んでいない地方公共団体も容易に分かるような内容、見せ方をすることが必要とする。
- 災害時のオペレーションについて、都道府県や市町村が実際に何をするのか、担当の職員が分かるようなマニュアルの作成を含め、具体的に記載した方がよい。
- 文言（広域物資拠点と一次物資拠点）の統一化をすべきではないのか。

<その他意見について>

- 在宅等の被災者支援については、被災地におけるスーパーやコンビニなどの企業に対し、備蓄など体制を確保、BCPを策定してもらうなど、早期に立ち上げられるよう地域を強くすることが必要である。
- 避難所へのニーズをいかに早く吸い上げるが重要であり、情報把握のためのシステムの拡張を検討している。
- 支援物資輸送の際に、通行可能な道路の状況は誰が把握しているのか。
- 支援物資輸送は、トラック輸送がメインとなるが、平時より時間を要するため、一定の配慮が必要である。
- プル型支援において、時間によって被災者のニーズが変化し、被災者からは様々な要望が出されてくるため、その対応をどうするかが問題。
- ハンドブックを活用する対象が都道府県・市町村であれば、ハンドブックに対するアンケート対象も都道府県・市町村とし、あわせて、都道府県・市町村の拠点の設置状況、協定締結の有無など基礎情報も確認すべき。